

新公立病院改革プランの点検・評価の概要
(令和2年度実績)

団 体 名		南部町						
プ ラ ン の 名 称		南部町病院事業新改革プラン						
策 定 日		平成 29 年 3 月 31 日						
対 象 期 間		平成 29 年度 ～ 令和 2 年度						
病院の現状	病 院 名	国民健康保険南部町医療センター	現在の経営形態		公営企業法財務適用			
	所 在 地	青森県三戸郡南部町大字下名久井字白山87番地1						
	令和2年度当初の許可病床数 (令和2年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
			26	40				66
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	
				26		40	66	
令和2年度中の許可病床数の変更状況 【変更なし】	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		26	40				66	
	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※		
			26		40	66		
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	一次医療圏における急性期医療や慢性期医療に重点を置き、特殊医療の人工透析及び救急医療、在宅・地域医療においても公立病院としての役割を担い、地域住民の健康保持とニーズに対応しながら、健全な病院運営を実施していく。 また、南部町包括ケアの推進を図るうえで、保健・医療・福祉との連携を図っていく。						
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況	町では、地域住民による多様な活動の展開を含む、地域における保健医療サービス及び福祉サービスを総合的に提供するとともに、多様な職種や機関との連携協働による地域包括ケアシステムを進めている。その中で、医療センターの役割として、隣接している健康福祉課(地域包括支援センター含む)と密に連携を取り合い、入院・外来患者には、退院後のケアやこれからの生活について、本人・家族・ケアマネージャー・行政間で情報提供等を行い、早期発見、早期対応に努める。必要であれば訪問看護、訪問医療を実施し、よりよい生活になるよう支援していく。						
	③ 一般会計負担の考え方	総務省より通知される地方公営企業繰出金の基準に基づいて一般会計から繰出金を支出している。 ①病院の建設改良に要する経費(企業債元利償還金 1/2 , 2/3) ②不採算地区病院の運営に要する経費(高度・救急・特殊医療機器保守料及びリース料の一部、リハビリ部門の収入をもって充てることができない経費、医師診療手当) ③救急医療の確保に要する経費(空床補償、救急医療体制に要する人件費) ④医師及び看護師等の研究研修に要する経費(研究研修費 1/3) ⑤共済追加費用の負担に要する経費 ⑥医師確保対策に要する経費(パート医師に係る経費の一部、医師修学資金) ⑦児童手当に要する経費 ⑧建設改良に要する経費(医療機器購入 1/2)						

別記1

④ 医療機能等指標に係る数値目標		上段(青色セル):目標		中段:実績		下段:達成度		備考	
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		2年度
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	1)医療機能・医療品質に係るもの								
	救急患者数(件) ※救急車搬送				120	120	120	120	
		132	121	135	145	118	129	162	
		-	-	-	120.8%	98.3%	107.5%	135.0%	
	訪問診察(件)				1,400	1,400	1,400	1,400	※介護保険算定分
		1,389	1,467	1,415	1,481	1,379	1,326	1,114	
		-	-	-	105.8%	98.5%	94.7%	79.6%	
	訪問看護(件)				190	190	190	190	※介護保険算定分
		205	197	201	203	218	248	236	
		-	-	-	106.8%	114.7%	130.5%	124.2%	
	リハビリテーション(件)				11,000	11,000	11,000	11,000	
		11,155	11,268	11,847	10,445	9,786	6,698	6,963	
		-	-	-	95.0%	89.0%	60.9%	63.3%	
	2)その他	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	備考
	健康・医療相談件数				860	860	870	870	
-		570	850	1,022	1,076	1,060	1,314		
	-	-	-	118.8%	125.1%	121.8%	151.0%		
特定健診受診者数				2,220	2,230	2,240	2,250		
	-	2,085	2,124	2,115	2,347	2,351	2,453		
	-	-	-	95.3%	105.2%	105.0%	109.0%		
⑤ 住民の理解のための取組	住民の理解のために、新改革プランをホームページに掲載する。								
(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標								
	1)収支改善に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	備考
	経常収支比率(%)				100.1	100.6	100.0	100.5	
		99.6	101.9	108.3	98.9	97.1	98.0	101.1	
		-	-	-	98.8%	96.5%	98.0%	100.6%	
	医業収支比率(%)				88.8	89.0	89.7	90.9	
		93.7	94.7	88.6	87.7	85.8	85.4	83.3	
		-	-	-	98.8%	96.4%	95.2%	91.6%	
	2)経費削減に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	備考
	材料費対医業収益比率(%)				11.3	10.8	10.7	10.7	
		11.5	12.2	12.3	13.4	13.5	12.9	13.9	
		-	-	-	84.2%	80.0%	82.9%	77.0%	
	3)収入確保に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	備考
	外来患者数(人)				46,060	44,100	44,500	44,500	
		45,492	45,628	46,265	45,001	41,517	40,557	35,268	
		-	-	-	97.7%	94.1%	91.1%	79.3%	
	一般病床利用率(%)				88.5	88.5	88.5	88.5	
		93.6	90.7	85.8	89.1	93.6	86.4	88.1	
		-	-	-	100.7%	105.8%	97.6%	99.5%	
	療養病床利用率(%)				90.9	90.9	90.9	90.9	
		97.9	97.8	92.3	94.7	91.7	92.3	95.1	
		-	-	-	104.2%	100.9%	101.5%	104.6%	
	4)経営の安定性に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	備考
	医師数(人)				7.0	7.0	7.0	7.0	※決算統計数値
		8.0	8.2	9.0	7.9	8.7	7.7	9.0	
	-	-	-	112.9%	124.3%	110.0%	128.6%		

別記1

	②目標達成に向けた具体的な取組	計画	実績
(2) 経営の効率化	民間的経営手法の導入	現在、業務委託している業務(医事・給食・清掃等)については、今後も引き続き業務委託を継続し、民間による経営手法の導入を図り、より効率的な業務委託を推進する。	委託している業務は、引き続き業務委託を継続している。他に民間による経営手法が導入可能であるか検討中。
	事業規模・事業形態の見直し	○人口の推移 平成27年度の町の人口は、19,148人で、国立社会保障・人口問題研究所公表の推計値をもとに推計すると、平成32年度には人口17,851となり、5年間で1,297人の減少推測される。 ○推計患者数 南部町総合振興計画において、青森県の年齢階級別受療率と国勢調査人口とにより算定すると、入院患者数は横ばいの264人、外来患者数はH27:1,384人からH32:1,362人と22人の若干の減が見込まれる。 ○上記の人口及び患者数の推計や近年の病床利用率、外来患者数から、現在の病床規模・機能を維持できるものと推測される。	病床利用率は、一般病棟88.1% (1.7%増)、療養病棟95.1% (2.8%増)となり、現在の病床規模・機能を維持している。 病床利用率が昨年より増加したことから、入院収益の増加に繋がっている。 外来延患者数は、35,268人(5,289人減)と減少したことが、外来収益の減少に繋がっている。 新型コロナウイルス感染症の抗原検査及びPCR検査による公衆衛生活動収益が増加したことから、医業収益は昨年より増加している。
	経費削減・抑制対策	○材料費の抑制 薬品は、極力ジェネリック薬品(後発品)の使用に努め、使用効率の向上と在庫量の適正化に努める。診療材料については、同等品についての情報収集により、廉価購入に努める。 ○消耗品費の削減 消耗品の購入に際して、同等品の廉価購入に努める。 ○医療機器保守点検の削減 医療機器の日常の点検・清掃は担当する技師等で行うなど、年間保守点検業務委託料の削減と医療機器の使用期間の延長に努める。	材料費については、新型コロナウイルス感染症対策のため増加となった。材料費の抑制は、病院事業運営にも多大な影響があることから、より一層の経費削減に努める。 医療機器保守点検については、年間契約からスポット検に切り替えることで経費圧縮に努めた。
	収入増加・確保対策	○施設基準を満たす体制維持と新たな施設基準への対応強化による診療報酬の確保 改定された施設基準を満たすための体制整備と新たに取得できる可能性のある施設基準の掘り起しとその対応を行うことによる診療報酬点数の確保を図る。 (平成28年度には「認知症ケア加算」を新たに取得) ○町健康福祉部門との連携による業務委託 隣接してある町健康福祉部門との連携による健康診査業務等を受託して実施。	健康・医療相談件数の増加や、地域施設・病院・町との連携を密にとったことにより、入院収益につながっている。引き続き、入院収益増加に努める。 「糖尿病合併症管理料」を新たに取得した。今後も新たな加算等取得できるよう努めていく。
(3) 再編・ネットワーク化	再編・ネットワーク化に向けた取組	令和7年度末までに、地域医療構想で示された下記の機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら、圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編・ネットワーク化の必要性についても検討する。 (八戸市立市民病院) ①充実した医療の提供を目指した病院を中心とした青森労災病院・八戸赤十字病院との機能分化・連携の推進 ②圏域内自治体病院等への支援 (その他の自治体病院等) ①病床規模の縮小・診療所化 ②回復期・慢性期への機能分化 ③中核病院との連携体制の構築 ④在宅医療の提供 ⑤へき地医療拠点病院(三戸中央病院)を中心とした効率的なへき地等医療提供体制の整備	
(4) 経営形態の見直し	経営形態の見直しに向けた取組	前回の改革プランで公営企業法全部適用について、町及び病院とで協議・検討結果、全部適用に至らなかったが、今後の状況に応じて可否を、再度検討する。	
	総合評価	新改革プラン最終年の総合評価としましては、医療機能等の指標及び経営指標の一部について目標を下回る項目がありました。特に、医業収支比率と材料費対医業収益率については、病院事業運営の重要な位置づけとされている項目であるため、材料費の削減を図りながら、医業収益の増収にむけて改善を図ります。そのため、目標を達成出来なかった項目の改善は最重要事項と定め、本計画に掲載していない収入増加・支出削減についても一層努めていきます。 令和2年度の計画については、概ね計画どおりに実施されました。	
	その他特記事項		

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

年度		H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (計画)	R2年度 (計画A)	R2年度 (実績B)	R2年度 (差B-A)
区分									
収	1. 医 業 収 益 a	968,963	902,027	908,134	879,699	940,178	938,833	867,323	▲ 71,510
	(1) 料 金 収 入	842,836	795,501	795,286	768,875	819,580	818,235	738,421	▲ 79,814
	令 そ の 他	126,127	106,526	112,848	110,824	120,598	120,598	128,902	8,304
	う ち 他 会 計 負 担 金	47,390	29,005	33,398	30,404	33,398	33,398	35,105	1,707
	2. 医 業 外 収 益	116,537	254,749	157,680	154,647	137,439	127,068	232,737	105,669
	(1) 他 会 計 負 担 金 ・ 補 助 金	65,540	203,304	103,320	108,605	97,225	96,893	119,265	22,372
	(2) 国 (県) 補 助 金	1,907	1,995	2,236	2,158	1,630	1,630	74,036	72,406
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	45,902	46,161	48,622	39,834	35,544	25,505	33,784	8,279
	(4) そ の 他	3,188	3,289	3,502	4,050	3,040	3,040	5,652	2,612
	経 常 収 益 (A)	1,085,500	1,156,776	1,065,814	1,034,346	1,077,617	1,065,901	1,100,060	34,159
入	1. 医 業 費 用 b	1,023,241	1,017,900	1,035,333	1,025,420	1,048,403	1,032,484	1,040,772	8,288
	(1) 職 員 給 与 費 c	529,629	529,808	560,458	559,341	561,745	568,247	676,767	108,520
	(2) 材 料 費	118,208	110,815	121,525	118,752	101,000	100,900	120,250	19,350
	(3) 経 費	257,380	279,780	253,310	251,887	286,275	288,087	165,751	▲ 122,336
	(4) 減 価 償 却 費	109,111	95,724	97,462	92,961	94,583	72,100	75,058	2,958
	(5) そ の 他	8,913	1,773	2,578	2,479	4,800	3,150	2,946	▲ 204
	2. 医 業 外 費 用	42,366	49,851	42,331	40,195	29,011	28,180	47,140	18,960
	(1) 支 払 利 息	16,946	16,461	16,045	15,671	14,937	14,127	14,377	250
	(2) そ の 他	25,420	33,390	26,286	24,524	14,074	14,053	32,763	18,710
	経 常 費 用 (B)	1,065,607	1,067,751	1,077,664	1,065,615	1,077,414	1,060,664	1,087,912	27,248
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	19,893	89,025	▲ 11,850	▲ 31,269	203	5,237	12,148	6,911	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	2,700	0	0	24,601	24,601
	2. 特 別 損 失 (E)	73	339,658	470	7,787	100	100	24,847	24,747
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	▲ 73	▲ 339,658	▲ 470	▲ 5,087	▲ 100	▲ 100	▲ 246	▲ 146
純 損 益 (C)+(F)	19,820	▲ 250,633	▲ 12,320	▲ 36,356	103	5,137	11,902	6,765	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	0	0	0	0	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	1,095,556	1,133,983	876,870	692,012	1,096,065	1,098,795	644,083	▲ 454,712
	流 動 負 債 (イ)	75,817	77,447	93,321	134,022	75,045	75,000	166,764	91,764
	う ち 一 時 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
差 引 不 良 債 務 [(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ) (オ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.9	108.3	98.9	97.1	100.0	100.5	101.1	0.6	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	94.7	88.6	87.7	85.8	89.7	90.9	83.3	▲ 7.6	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	54.7	58.7	61.7	63.6	59.7	60.5	78.0	17.5	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)	0	0	0	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	
病 床 利 用 率	95	89.7	92.5	92.5	89.7	89.7	92.3	2.6	

団体名 (病院名)	南部町 (南部町医療センター)
--------------	--------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

年度		H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (計画)	R2年度 (計画A)	R2年度 (実績B)	R2年度 (差B-A)
収 入	1. 企業債	0	2,700	17,000	15,600	17,300	0	140,400	140,400
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	13,167	10,820	13,151	20,380	43,668	40,671	40,548	▲ 123
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	1,398	2,700	6,660	2,700	0	102,044	102,044
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	13,167	14,918	32,851	42,640	63,668	40,671	282,992	242,321
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	13,167	14,918	32,851	42,640	63,668	40,671	282,992	242,321	
支 出	1. 建設改良費	740	4,196	18,320	25,840	20,000	0	234,417	234,417
	2. 企業債償還金	14,312	11,391	11,795	23,642	73,851	70,456	66,511	▲ 3,945
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	3,600	5,400	5,400	1,800	5,400	5,400	1,800	▲ 3,600
	支出計 (B)	18,652	20,987	35,515	51,282	99,251	75,856	302,728	226,872
差引不足額 (B)-(A) (C)	5,485	6,069	2,664	8,642	35,583	35,185	19,736	▲ 15,449	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	5,485	6,069	2,664	8,642	35,583	35,185	19,736	▲ 15,449
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	5,485	6,069	2,664	8,642	35,583	35,185	19,736	▲ 15,449
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円、%)

	H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (計画)	R2年度 (計画A)	R2年度 (実績B)	R2年度 (差B-A)
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	112,930	232,309	136,718	139,009	130,623	130,291	154,370	24,079
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	13,167	10,820	13,151	20,380	43,668	40,671	40,548	▲ 123
合計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	126,097	243,129	149,869	159,389	174,291	170,962	194,918	23,956

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。